

新島の火山活動解説資料（令和元年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1）
式根監視カメラ（丹後山の西南西約4km）による観測では、噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図2 - 、図3）
20日17時04分に新島付近を震源とするマグニチュード¹⁾2.1の地震が発生し、新島村で震度1を観測しました。この地震の発生前後で、火山活動には特段の変化はみられませんでした。新島付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図2 - 、図4）
GNSS連続観測及び傾斜計による観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) マグニチュード(M)は地震の規模を表します。この値は暫定値で、後日変更することがあります。



図1 新島 丹後山周辺の状況
(5月17日、式根監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（令和元年6月分）は令和元年7月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

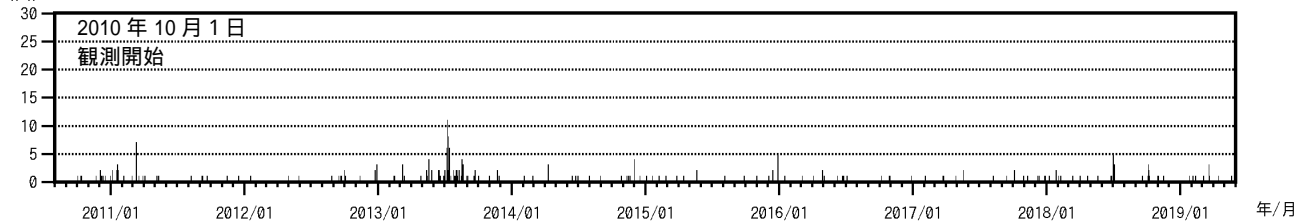
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

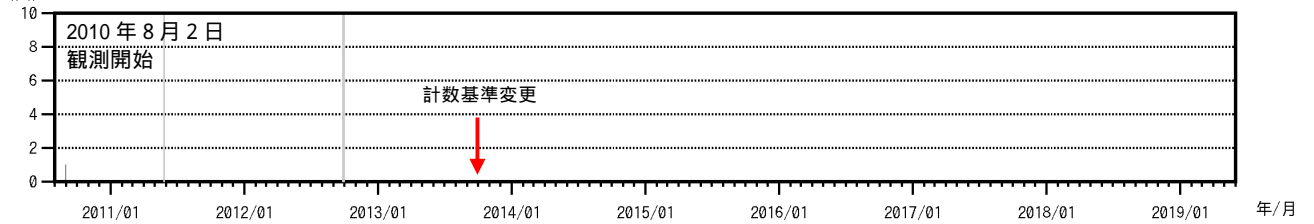
【計数基準の変遷】

A型地震	2010年10月1日（観測開始）～	瀬戸山南から半径約8km、深さ約20km以内
B型地震	2010年8月2日～2013年9月30日	瀬戸山南振幅0.8 μ m/s以上
初期	2010年8月2日～2013年9月30日	瀬戸山南振幅0.8 μ m/s以上
変更	2013年10月1日～	瀬戸山南振幅4.0 μ m/s以上

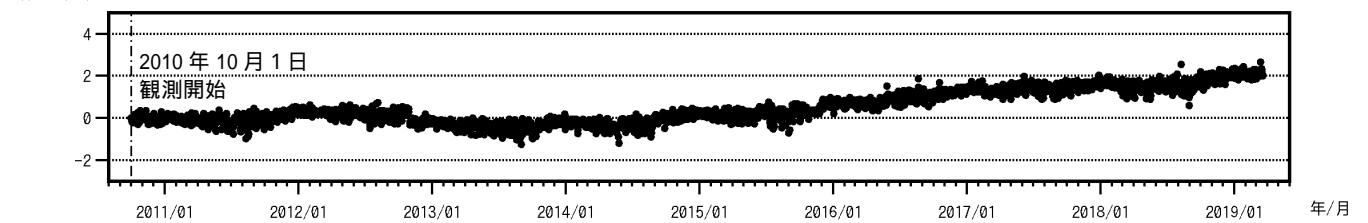
① 日別A型地震回数



② 日別B型地震回数



③ GNSS観測 若郷-新島（国）（基線長 6173m）



④ GNSS観測 式根島（国）-新島（国）（基線長 6092m）

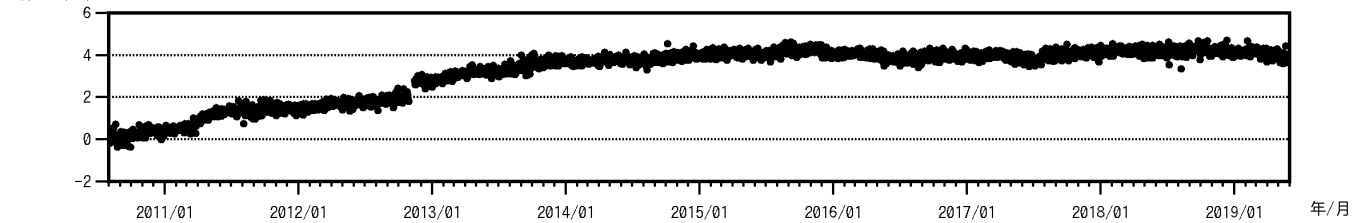


図2 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2019年5月31日)

のグラフの灰色部分は機器障害のため欠測を示します。
、 のグラフは図4のGNSS基線、に対応しています。

